

株式会社プロアシスト(大阪府大阪市)

【ソフトウェア開発、ハードウェア開発】

LEADER

代表取締役社長 生駒 京子 氏

商工会議所のイテオン

女性の活躍推進



年齢・性別・国籍を問わないダイバーシティ経営を推進している株式会社プロアシスト。社員とその家族を大切にし、「仕事と家庭の両立支援」サイトを開設するなど、社員の出産・育児も全面的にバックアップしている。

社員を全力でサポート、育休復職率100%

■背景・きっかけ:

同社は、海外進出を視野に入れ、年齢・性別・国籍を問わないダイバーシティ経営を推進してきた。設立当初から定年を65歳とし、早い段階から外国人も採用している。

そして、「社員の家族は自分達の家族、子育ても大事なミッション」と生駒社長は考え、社員の出産・育児にも、会社としてできる限りのサポートをしてきた。

■取組内容・効果:

具体的には、出産・育児の社員のために、育児休業、特別休暇等に関する規程や取得のための手続きを紹介する「仕事と家庭の両立支援」サイトを開設。また、育休中も利用できるe-ラーニングを提供し、復帰後のスキル面での不安解消の一助になっている。さらに、人事課が周辺エリアの保育所に関する情報を提供したり、復帰のタイミングをアドバイスするなど、育休中の社員を手厚く支援している。その甲斐あって、これまで育休を取得した社員は100%職場に復帰している。「休業中に業務を支えてくれた他の社員に仕事で恩返しをするために、必ず復帰してほしい」と、トップが育休取得者に明確に伝えることで、社員も安心して戻ることができる。

また、戻ってきた社員のために、始業(9時30分)、終業(18時)時刻を2時間まで繰り上げ・繰り下げできる「始終業時間変更制度」や、一日2時間を超えない範囲で、子どもが小学校1年生終了まで利用可能な「育児短時間勤務制度」を設けるなど、バックアップの体制を整えている。

■今後の展望と課題:

「一人一人の社員を支える応援体制を会社の中にも外にもつくっておきたい」との考えのもと、社員の誕生会や家族連れの慰安旅行、社員の子どもが職場を見学することも参観、社長自ら地方出身者の実家を訪問して近況を報告する家庭訪問も行っている。

仕事のことも家庭のことも理解ある応援者をつくるのが、女性が働きやすい一因にもなっていて、社員に占める女性比率は27.5%、管理職比率は21%となっている。生駒社長は、「男性も育休を取れば、仕事と家庭の両立への理解やマネジメントスキルが身につく、良い管理職になる」と考えている。



子ども参観日



慰安旅行

センサー商品



脳波センサー

中小企業の実践ポイント

- 仕事のことも家庭のことも理解ある応援者をつくる
- 育児休業者を育休前から全力でサポート

【企業データ】

代表者	生駒 京子	会社設立年	1994年	従業員数	120人(男性87人、女性33人)
本社所在地	大阪市中央区高麗橋2-3-9	ホームページ	http://www.proassist.co.jp/		
事業内容	システム、ソフトウェア開発、ハードウェア開発				